

森の会ニュース

会 員 だ よ り

森の会の会員の皆さん、いかがお過ごしですか。

今回の森の会ニュースでは、地域科学部の同級生同士でご結婚されたお二方の近況をご紹介させていただきます。1期生の都築康一さんは永田尚子さん(旧姓)と、4期生の平松温子さん(旧姓)は市川福太郎さんとご結婚されました。皆さんのまわりにも地域科学部の卒業生同士のカップルがいらっしゃいませんか。

*地域科学部のカタチ

2000年度卒業 都築康一

私は第1期生として地域科学部を2001年に卒業しました。時間的にも距離的にもそして心情的にも、地域科学部を少し遠くに感じる位置に来た今、改めて振り返って感じたことを書きなぐってみたいと思います。

在学当時はそれほど強くは意識しませんでした。やはり地域科学部は他の大学や学部とは毛色が違う集団(組織?あつまり?)だったように思い起こされます。

地域科学部が発足して間もない頃だったということもあるのですが、他学部のように先生と学生の位置関係がカチッと決まりきっておらず、良く言えばアットホーム、誤解を恐れずに言えば若干ルーズな間柄にあったように思います(もちろんすべての先生方がそうだったというのではなく、全体として私が感じたことなのですが)。

ゼミなどではそれが特に顕著に現れていました。和気あいあいと議論したり、輪読したり、課題を発表しあったり。

学部の形がカチッと固まって居なかったということでしょうか。その分、活気が有り、型にはまらず自由な雰囲気を感じることができたと思います。このことと表裏一体として、先輩がないために、卒業後の進路の予想というものが立てづらかったようにも思います。

在学中に特に思い出深いことといえば、学生が主催した「ゼミ大会」の存在です(完全に学生主催というわけではなく、裏方的に支援して下さった先生方がいらっしゃったことも事実ですが)。

主催者グループの学生達はよく汗をかきましたが、慣れない事だったこともあり進行上拙い点もあったように思います。ただ、自分の所属しているゼミ以外の、他のゼミが一体何をやっているのかを知る機会を提供することには十分貢献しました。

研究する上で刺激を得られたとか、共同研究の足がかりになったとか、そのような高度な効果が現れたとはとても言えませんが、地域科学部らしいゴツ煮の様相を良く体現したイベントだったと思います(私の知る範囲では第3回までは催されていたようですが、その後どうなったの

ようか?)。

第1期生が卒業してから7年、地域科学部のカタチは固まってきたのでしょうか?相変わらずゴツ煮のモザイク学部でしょうか?

どのようなカタチの森に変化していくのか、こっそり観察していきたいですね。追伸:私は地域科学部の同期生と身を固めました。

*図書館司書としての毎日

2003年度卒業 市川温子(旧姓:平松)

現在、私は図書館司書として岐阜県立高校の図書館で働いています。自分の好きなことを仕事にしたいと思い選んだ道です。思い描いていたものと多少の違いはありますが、かわいい生徒たちに囲まれて毎日楽しく働いています。

普段は、主に図書館の運営や管理をしています。その他にも、学校職員の一員として様々な行事や活動に参加します。私が高校生だった時と違った視線から学校を見ることができるのは、とても新鮮です。

しかし、子どもの変化に戸惑うこともあります。今、子どもの読書離れが話題となっていますが、高校生でもその傾向は明らかです。ベストセラーや話題の本をそろえても、全ての生徒が図書館に来てくれるわけではありません。きっと一度も本を借りずに卒業してしまう生徒もいるはず。「本なんて読めない!」と言われてさみしい思いをしたり、落ち込んだりすることもありました。

でも今はよくばらず、たくさん本を貸出よりも生徒一人ひとりが1冊でも心に残るような本に出会ってもらえることを目指してがんばっています。

*岐阜大学地域科学部同窓会によせて

岐阜大学地域科学部副学部長 竹内章郎

地域科学部が創設されて十年がすぎ、この学部に対する世間の認知度も高まってきたようだ。入ってくる学生も、地域科学とは何ぞやなどの難しい点に関することは別にして、その立ち居振舞いや勉学の様子は何かしら落ち着き、良い意味で胸を張って暮しているように見える。至らぬことも多かったが、それでもこの十年、多数の教員が学生教育と専攻の研究に地道に取り組んできた若干の自負もなくなる。そしてこれらを受けとめ発展させてくれた多くの学生が、また事務方の献身が、学部をいわば一人だちさせてきたのだと思う。

地味で平凡ながら、本物の教育・研究とこれらが培う汎用性の高い力こそ大学の真髄だ。だからよくあることで、岐大全体も時に巻き込まれているが、昨今の新自由主義的な「改革」なる名の「仕事」に振り回されることこそ最悪だ。必要な変革には断固として取組むが、「改革」疲れて本当のことが疎かになり、宣伝文句や評判倒れの「研究・教育らしきこと」に手を染めると、偽装や嘘塗れや事件等の不正が大学で頻発する。これは他人事ではない。

以上のように考える私は、また次の発言を多くの人に熟読玩味してもらいたいと思っている。「現代では、世界のラディカルな批判は個人の生活のラディカルな批判でもある。視点をずっと高い位置にもっていくことと、個人の内面をより深くえぐることが非常に近い作業となる。そういう時代に我々はいる」。これは、十数年前の或る哲学講座の巻頭言だが、地域科学部での勉学・研究全般にも、また今の世情とそこに生きる皆にも該当すると思う。狭い地域や個人的なことも、それ自体が日本や世界や歴史全体と内在的に繋がり、この結合をしっかりと見据えた勉学、更には生活が大切だ、ということである。

尤も地域概念自体の根幹が、従来の社会科学の方法概念を凌駕するものであれば、こんなことは当然だろうが……。以上、その準備・創設以来、地域科学部とずっと一緒だった一教員が、同窓会誌から求められて、原稿用紙の樹目を思いつきのうめた雑感である。

*卒業生の皆さんお元気ですか？

吉田千秋(元 岐阜大学地域科学部学部長)

僕はこの3月に、岐阜大学を定年退職し、皆さんと同じように、「卒業生」になりました。無事に卒業できたので、世間的にはめでたいことですが、34年間岐阜大学に在職したので、ちょっとはさびしい感じもありますね。

この間いろいろなことがありました。最初に赴任した「工業短期大学部」という3年制の夜間学部は、僕自身もその存在さえ知らなかった学部でした。「哲学」だけではメシを食わしてもらえないのでドイツ語も担当しましたが、働きながら学ぶ学生にはいつも感心していました。

その後、将来計画委員長の時期にその学部を廃止することになり、教養部に移籍しましたが、教務厚生委員長の時期にその教養部を廃止し、新学部設立に関与することになりました。それは紆余曲折をへて「地域科学部」という名称になり、たまたま準備運営委員長を引き受けましたが、正直な気持ちでいうと「奇跡的に」出発できた、という思いでした。

誕生後もいろいろとありましたが、学生、教員、職員とも力をあわせて歩んだ結果、これもたまたま僕が学部長の時期に最初の卒業生を送り出すことができ、それにつなげた大学院も設置できてほっとしました。とりわけ、小さな学部ということもあって、学部長として直接に卒業証書を一人ひとりに手渡せるようにできたのは、たいへんうれしかったです。

いま僕は、引き続き地域科学部や、名古屋大学、看護大学などの非常勤講師を引き受けていますが、「九条の会」や「平和美術展」などの平和活動に、一市民として全力あげて活動しています。また、「千秋まちかど文庫」という小さな図書室や、「哲学カフェ de ぎふ」というセミナーも、この6月からなりました。

人生たまたまの連続ですが、皆さんも何事も前向きな姿勢で歩んでください。できましたら、この7月の同窓会総会で再会できることを楽しみにしています。



2008年度 森の会役員



会 長／浅井 彰子①

幹 事／牛田 陽子①、伊藤 雅浩①、田中 幸恵②

副会長／浅野 善信①、石黒 好美①、都築 尚子①

会 計／荒瀬 修三②、大竹 裕美②

幹事長／加地 和歌子①

監 査／中嶋 英理①、鬼頭 利佳①

①:2000年度卒業 ②:2002年度卒業

森の会では、会報の編集、会計、同窓会の企画等々の活動と一緒に行っていただける方を大募集しております。興味のある方はぜひ裏面の連絡先までご連絡ください。

岐阜大学地域科学部平成20年3月卒業者の進路状況について 平成20年5月1日現在
 今年度、新たに正会員になられた8期生の皆様の進路についてご報告いたします。

1 卒業者の進路希望

進学希望者	就職希望者	その他	計
4名	103名	4名	111名

*「その他」は、専門学校・未定等。

2 大学院進学希望者の状況

本学部大学院	他大学大学院	その他	計
1名(合格)	2名(合格)	1名	4名
	奈良先端科学技術大学・マッコーリ大学		

3 就職希望者の状況

	求職者数	決定者数	決定率
企業志望	83名	82名	98.8%
公務員志望	20名	19名	95.0%
計	103名	101名	98.1%

4 就職先・業種別区分

ヒューマン資源講座	地域政策講座	地域環境講座	地域文化講座	地域構造講座
企業	建設業(1) 不動産(1) 製造業(4) 金融業(7) 卸・小売(2) サービス業(4) 医療・福祉(2)	製造業(9) 運輸・情報(1) 金融業(4) 卸・小売(7) サービス業(3)	製造業(4) 運輸・情報(1) 金融業(2) 卸・小売(4) サービス業(4) 教育・学習支援(1)	建設業(2) 製造業(5) 金融業(7) 卸・小売(3) サービス業(3) 教育・学習支援(1)
公務員	国土交通省(1) 検察庁(2) 市役所(2) 県警(2) 消防(1)	国務局(1) 市役所(2)	市役所(2) 県警(1) 学校事務(1)	県庁(1) 市役所(2) 役場(1)

5 おもな就職先

<企業関係>

(建設) 大成建設/トヨタホーム名古屋/日本エネシス

(不動産) 積和不動産中部

(製造) 東海光学/大豊製紙/TYK/ヤマザキマザック/森精機製作所/武田機工/コムラ/文彦堂/共立製菓/宮島薬品/三甲/ヤクルト/生方製作所/ニテック/山田トビー/ポイント/鍋屋ハイテック/イビデン産業/樋口製作所

(運輸・情報) 東日本旅客鉄道/東海旅客鉄道

(金融) 十六銀行/みずほ銀行/中日信用金庫/岡崎信用金庫/大垣共立銀行/浜松信用金庫/三菱UFJ証券/三井住友銀行/愛知銀行/八十二銀行/岐阜県信用農業協同組合連合会/日本生命保険相互会社/東京海上日動火災保険

(卸・小売) 三富/丸大/中央交易/飯田グループ/ユーストア/ホンザキ東海/エイデン/ゲオ/松坂屋/三交クリエイティブライフ/ハロー/愛知スズキ販売/イオン/生活協同組合コープ岐阜

(医療・福祉) 独立行政法人国立病院機構/日本医療事務センター

(サービス業) JTBTラベランド/山武/富士ソフト/農事組合法人モクモク手作りファーム/ディスコ/日本コンピュータ・システム/エイダブリュサービス/NBCアレンジングリクルート/岐阜県信用保証協会/大庄/豊通ヒューマンリソース/トエネック/名古屋葬祭/西濃情報サービス

(教育学習支援) 岐阜大学事務

<公務員関係>

国土交通省/名古屋国税局/名古屋地方検察庁/岐阜地方検察庁/岐阜県庁/本巣市役所/池田町役場/岐阜県警/愛知県警/名古屋市役所/豊田市役所/小牧市役所/知多中部広域事務組合消防本部/岐阜県小中学校事務



2007年度会計報告

収入

前年度からの繰越	9,302,637
会費(10,000円×83人)	830,000
利子	6,530
合計	10,139,167

支出

事業費(森の会ニュース印刷、FOREST印刷、地域科学部創立10周年記念行事協力、卒業祝会協力)	392,206
通信費(ニュース郵送料)	93,120
事務費	41,951
会議費	28,339
次年度へ繰越	9,583,551
合計	10,139,167

会計書類等を監査したところ、適正に執行されていることを認めましたので、報告します。

中嶋 英理 (印) 鬼頭 利佳 (印) 2008年 5月26日

7月20日(日) 地域科学部同窓会総会・懇親会開催!

来たる2008年7月20日(日)、地域科学部同窓会の総会と懇親会を母校岐阜大学で開催します。
また、今年、地域科学部を退官された元・地域科学部学部長の吉田千秋先生によるミニ講座も企画しています。
ぜひご参加いただき、懐かしい同窓生や先輩・後輩および先生方との交流をお楽しみください。
なお、在学生の方々からは「卒業生の方の進路やお仕事ぶりなどについてぜひお話を聞いてみたい!」というお申し出をいただきました。そこで今回の会には、現役の地域科学部の学生さん(有志)も参加していただきます。

岐阜大学地域科学部同窓会総会・懇親会

- 場 所 岐阜大学全学共通教育棟101教室および第二食堂
- 日 時 2008年7月20日(日)
 - 10:30~受付開始
 - 11:00 総会(岐阜大学全学共通教育棟101教室)
 - 11:15~11:45
吉田千秋先生によるミニ講座
 - 12:00~懇親会(第二食堂)
※懇親会のみ参加もOKです
- 会 費 2,000円(在学生は1,000円)当日、受付にてお支払いください。

- 申し込み方法
この会報に同封のはがきに必要事項をお書き添えの上、
6月27日(金)までに投函してください。
一人でも多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております!

会員の皆さま、お元気でいらっしゃいますか。お一人おひとりがそれぞれの場においてご活躍のこととお喜び申し上げます。

森の会は新たにご卒業された8期生の皆さまをお迎えし、会員数が900人ほどになりました。昨年度は、6月に行われました地域科学部創立10周年の記念行事と3月の卒業を祝う会を、軽食の提供という形でお手伝いをさせていただきました。当初の目的の通り、母校との絆を保ち、会員相互の親睦を図るための組織として少しずつ成長しています。

来る7月20日には総会と懇親会を岐阜大学にて開催いたします。久しぶりの母校でなつかしいお仲間や先生方と語り合しましょう。お目にかかれずことを心から楽しみにしております。

これからも同窓会の活動にご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

(森の会 会長 浅井彰子)

※森の会ニュースではみなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。
メールまたは郵送にて下記宛先までお送りください。

連絡先

岐阜大学地域科学部同窓会 森の会
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内
mori2001@gifu-u.ac.jp

住所・氏名の変更なども
お知らせ下さい。